

# 一般質問通告書

【第63回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様  
 多可町議会議員 廣畑幸子



受 領 日	番号
平成 27 年 3 月 9 日 午前・午後 8 時 30 分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 発達障害への理解を広げよう	町長・教育長
<p>平成17年4月から「発達障害支援法」が施行され、支援体制は充実しつつあるものの、一般的な理解はまだまだ浅い。いろんな機会を捉えて、知って頂く事が必要と思っております。</p> <p>学校現場での対応は努力されていると思うが、現場の状況、次年度に向けての考え方、問題点など、お聞かせください。</p>	
2. 「介護からの卒業」 その後の動きは	町長
<p>26年6月の一般質問「介護からの卒業式を多可町でも」に対する動きなどはどのようになっていますか。</p> <p>「きっとありがとう体操」を高齢者だけでなく、運動不足の人たちにもどんどん取り入れてもらうようアピールをすべきでは。</p> <p>「きっとありがとう体操」を多可テレビで放送しては。</p>	
3.	
Empty space for additional questions and answers	

## 質 問 の 内 容

### 1, 発達障害への理解を広げよう

「発達障害」は身近にあるけれども、社会に十分知られていないものでした。また「発達障害」のある人が、特性に応じた支援を受ける事ができれば、十分に力を発揮できる可能性があります、従来はその支援体制が十分ではありませんでした。

このような背景の中「発達障害」を社会全体で理解して支援していくために、平成17年4月から【発達障害支援法】が施行されています。

この【発達障害支援法】ですが、「発達障害」は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。

多可町では、1歳半の検診時や3歳児検診の時に「気になる事や心配な事」の例を掲載して「気づき」を促しています。

早期に発見し診断する事は、親が子どもをありのまま理解し、その成長を専門家のサポートとともに見守っていく事に役立ちます。

しかし、「発達障害支援法」が施行されているとはいえ、一般的な理解はまだまだ浅く、判断も難しい事が多く、周りの私たちが、発達障害の人や子どもたちに相對した時、どのように接すれば良いかなどの第1歩ですらわからない事が多いと思います。

発達障害の子どもを見て、「親の愛情が足りない」「躾ができていない」と言ったり、子どもが騒いだりパニックを起こしていると、「なぜ親は厳しくしからないんだ」と周囲はいらいらしてしまうかもしれません。

「発達障害とはこういうもの。あれは発達障害のパニックだ。そのうち落ち着くだろう」と知識を持って見守るという事は、本人にとっても家族にとってもとても大事な事であり、本人も家族もずいぶん楽になります。

子育てする上で、早期発見する事ももちろん大事です。と同時に、発達障害を知り理解する人を増やす事もとても大事な事です。わかりやすい冊子などを作って、いろんな時をとらえ、渡したり知らせたりする事が必要と思いますが、いかがでしょうか。

学校現場での対応ですが、スクールアシスタントやスクールラボ指導員また生活指導員を配置して発達障害児への指導等を充実する努力をされています。人員を配置するという事は、費用がかかりますが、必要な事です。ただ、配置する人数が多ければ良いというものではありません。現場の状況、次年度に向

けての考え方やまた問題点などお聞かせください。

## 2. 介護からの卒業 その後の動きは

元気で毎日を暮らしたいとの思いは、誰もが望む事です。

しかし、年を取るという事は誰にも平等に訪れ、避けられない事です。

「昨年6月に介護からの卒業式を多可町でも」と質問しました。

その時町長は「介護度が下がる事は良い事。多可町の現状を把握・分析し、他市町のプログラム等も参考にしていきたい。また、温泉活用やアロマを取り入れての多可町独自のものの研究もしたい」と答えられました。

その後どのように、検証・研究また計画が進んでいるのでしょうか。

平成26年11月の「日常生活圏域ニーズ調査(これは65歳以上の方対象のアンケートですが)の中で、転倒についての項目がありました。

「この1年間に転んだ事がありますか」	20.8%
「転倒に対する不安は大きいですか」	40%
「背中が丸くなってきましたか」	30%
「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」	52.2%
「杖を使っていますか」	10.2%

という結果が出ていました。

「年を取ると、畳の縁でもようつまづくわ。こけて骨でも折ったらえらいこっちゃから、気はつけとんやけどな」とよく耳にします。体力向上また維持は、とても大事な事です。

多可町では「きっとありがとう体操」ができています。

### 効果は

○高齢期に堅くなりやすい筋肉を伸ばし関節を柔らかく保ちます。

○「座る」・「立つ」・「歩く」と言った基本的な動作を行う上で重要な筋力を鍛えます

○歌に合わせる事で、「身体」・「こころ」・「頭」の3つの領域を総合的に刺激し、脳の老化防止をはかります

としています。

普及は、DVDを町内団体に配布したり、集落のふれあいサロンや老人クラブ会合で、出張講習会を。また、団体や事業所等多くの場で講習会をしております。

介護制度は平成27年度から大きく変わります。要支援1と2の方の通所介護と訪問介護が、給付対象外になります。自治体の準備期間を考慮して、27年度から3年間の移行期間が残されていますが、介護からの卒業はとても大事

な事と思います。

「きっとありがとう体操」をどんどん取り入れて、元気な高齢者をそして、運動不足の人たちへもアピールして、元気な人健康な人を増やす事が大事と考えます。

この「きっとありがとう体操」ですが、他の地域にもあると聞いたので調べてみました。ご当地体操として、県下ではお隣丹波市や朝来市、明石市等にありました。

その中の朝来市ですが、地元ケーブルテレビで朝7時半と午後1時半に放送され、テレビの前で体操する事ができるようになっています。多可町でも取り入れる事ができると思いますが、いかがでしょうか。